

令和4年度 第3回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

次 第

日 時： 令和5年2月28日(火)
午前10時～11時30分

場 所： 教育プラザ研修棟3階 大会議室
※オンライン会議と同時開催

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 令和5年度 事業計画・予算案について (30分)

- ・令和5年度 社会教育の方針 資料No.1
- ・令和5年度 一般会計当初予算要求一覧 (案) 資料No.2
- ・令和5年度 補助金交付事業計画 (案) 資料No.3

(2) 情報共有シートの取組について (1時間) 資料No.4

(3) その他

4 その他

5 閉 会

【現状と課題】 … R4の取組から

- （多様な学習機会の提供）**
- 市民の価値観の多様化、少子高齢化に伴う人口減少や担い手不足が著しい。また、多様化する人権問題など、地域における現代課題に対して、各種団体等と連携・協力しながら解決を図る社会基盤の構築が求められている。
 - 個人の学びの要望に応えるとともに、生涯を通して学び、活躍できる担い手となるよう、地域の魅力ある資源を活用した地域づくり等、社会の要請に基づく学習機会の提供のほか、参加者の固定化及び事業のマンネリ化に対応した取組が必要である。
 - 課題解決のアイデアや気づきとなるような講座を、地域の団体と連携して実施する必要がある。
- （地域ぐるみの教育の推進）**
- 地域社会の連帯意識の希薄化などにより、地域における教育力が低下し、家庭教育を支える仕組みや環境も大きく変化している。
 - 22の地域青少年育成会議では、各地域の特色に応じた活動を行っているが、教員の働き方改革に伴う学校との関係や事業のあり方に課題を持つ地域もあることから、各地域の状況に応じた支援が必要である。また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の高齢化・担い手不足が生じている。
 - 地域の若者を地域づくりや社会教育の担い手として巻き込んでいく取組が必要である。
 - 高等学校での不登校や社会人となる段階での不適應など、若者が自立していく中で、つまずき、ひきこもりになる状況が見られる。未来ある若者が社会的に孤立しないよう、義務教育終了後も途切れることなく、自立に向けて支援する活動を推進する必要がある。
- （施設管理・整備）**
- 公民館（地区館及び分館）、生涯学習センター、白山会館、上越清里星のふるさと館、上越科学館、大潟野外活動施設、図書館を所管し、多くの施設は老朽化が進行している。
 - 公民館は、住民の学びやまちづくり活動を支える拠点となる施設である。また、職員が常駐する地区公民館は、子どもたちの居場所にもなっている。引き続き、住民が学びやすい環境を作っていく必要がある。
 - デジタル化の進展に伴い、社会教育施設におけるICT環境の整備を図る必要がある。

【目指すべき姿】

誰一人取り残さないというSDGsの理念の下、学びを通じた人づくり、地域づくりを推進する。

【社会教育課の取組方向（重視する視点）】

【取組方向①】

多様な学習活動の推進
多様な学習機会の充実

- 多様な学習ニーズに対応するため、地域の資源や人材、NPOなど民間団体の取り組み等を活用し、主体的な学びのきっかけとなる学習機会の提供や学ぶ環境の充実を図る。
- 参加者同士が学び合い、互いに高め合えるよう支援するとともに、市民に学びの輪が広まり学習の成果が幅広くいかされるよう、学びが循環する地域づくりを推進する。
- 一人一人が大切にされる社会となるよう、人権教育を推進する。

【取組方向②】

学校・家庭・地域が一体となった子どもの健全育成

- 学校・家庭・地域が一体となって子どもの健全育成を推進し、郷土愛の醸成を図る。
- 地域青少年育成会議や地域団体の活動を支援するとともに、持続可能な青少年教育活動体制を整えるため、特に公民館と連携する仕組みづくりを進める。
- 地域学校協働活動推進員の取組を周知するなど、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図るとともに担い手の確保に努める。
- 義務教育終了後も切れ目のない若者への教育的支援の取組を進め、若者の居場所（Fit）を中核とする若者及び保護者への支援を充実させる。

【取組方向③】

施設管理・整備

- 施設の実態や利用状況を踏まえ維持管理や計画的な整備を進め、学ぶ環境の充実を図る。
- 住民の身近な学びの場、子どもの居場所としての環境を維持するとともに、ICT環境の整備を進める。
- 「公の施設の適正配置計画」に基づき、適正配置を進める。

【令和5年度の重点事業】

多様な学習活動の推進・多様な学習機会の充実

【事業内容】

- 人権教育の推進
 - ・人権意識を高めるための学習機会の充実
 - 郷土を愛する心の育成
 - ・地域の資源や誇りを活かした謙信KIDSプロジェクトの実施
 - 地域・現代課題に対応する取組の推進
 - ・地域団体とともに地域の課題解決に向けて、「ふるさと未来づくり事業」を各地区公民館で継続する。
 - コロナ禍にあっても、市民の学びの意欲や関心が高まるよう、教育機関である公民館での多様な取組を通じて、人づくり、地域づくりを推進する。
- <第7次総合計画・第3次総合教育プラン>
- 3-1-1 人権・多様性の尊重 5-3-1-1 多様な学習機会の充実 5-3-1-2 多様な学習活動の推進

学校・家庭・地域が一体となった子どもの健全育成

【事業内容】

- 家庭・地域の教育力向上
 - ・家庭教育支援講座、親子活動講座等の実施
 - 青少年の育成支援活動の推進
 - ・地域青少年育成会議への訪問を通じた各地域の状況把握と課題に応じた支援
 - ・地域青少年育成会議と公民館との事業連携の推進
 - ・市ホームページ等を通じた地域青少年育成会議や地域学校協働活動推進員の活動周知
 - ・担い手確保のための研修会等の実施
 - 若者育成支援の取組の充実
 - ・若者の居場所（Fit）の周知と活用の促進
 - ・親の会の開催による保護者支援の充実
 - ・関係機関・団体と連携した支援の推進
- <第3次総合教育プラン>
- 5-2-1-2 特色ある学校教育の推進 5-2-2-1 全ての子どもの学びの保障

施設管理・整備

【事業内容】

- 施設の適正管理と適正配置の取組推進
 - ・利用者が安全に安心して利用できるよう、施設の適切な管理運営を図る。
 - ・金谷地区公民館の整備をはじめ、適正配置の取組を進める。
 - 上越科学館の展示等の適切な管理運営を図る。
- <第7次総合計画>
- 5-3-1 多様な学びの推進

令和5年度 一般会計当初予算要求一覧（案）

単位：千円

No.	予算事業名称	小事業名称	令和4年度 当初予算額	令和5年度当初予算要求額					対年度 増減額	事業概要	
			事業費	事業費	財源内訳						
					国	県	地方債	その他			一般 財源
社会教育課合計			610,813	834,009	25,000	2,506	135,500	43,164	627,839	223,196	
1	春日謙信交流館管理運営費	春日謙信交流館管理運営費	11,774	12,387	0	0	0	3,414	8,973	613	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
2	八千浦交流施設はまぐみ管理運営費	八千浦交流館はまぐみ管理運営費	25,724	38,731	0	0	0	4,327	34,404	13,007	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
3	八千浦交流施設はまぐみ管理運営費	スポーツハウスはまぐみ管理運営費	2,612	2,597	0	0	0	1,278	1,319	▲ 15	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
4	青少年健全育成センター運営費	青少年育成支援事業	10,082	10,158	0	0	0	0	10,158	76	○街頭指導活動や環境浄化活動及び青少年育成活動を通して、青少年の非行、犯罪の防止と健全育成活動を実施する。 ○困難を抱える若者の社会的自立を支援するため、居場所を中核とした若者育成支援事業を推進する。
5	青少年健全育成センター運営費	地域青少年育成会議活動支援	9,478	9,436	0	0	0	0	9,436	▲ 42	○青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るため、「地域の子どもは地域で育てる」ことに資する活動を支援する。
6	二十歳を祝うつどい運営事業	二十歳を祝うつどい運営事業	6,526	7,066	0	0	0	0	7,066	540	○二十歳を祝うつどいを開催することで、対象者に対し、大人としての自覚と自立を促すとともに、生まれ育った上越市への思いを深め、豊かな人間性と社会性を培う契機とする。
7	社会同和教育活動事業	白山会館事業	1,663	1,450	0	0	0	6	1,444	▲ 213	○人権問題に対する正しい理解と認識を深めるための各種事業を開催する。
8	社会同和教育活動事業	小中学生学習会	1,137	1,087	0	0	0	0	1,087	▲ 50	○地区及び地区出身の小中学生を対象に学習会を開催する。
9	社会同和教育活動事業	白山会館管理運営	1,816	3,413	0	0	1,800	0	1,613	1,597	○人権・同和教育拠点施設である白山会館の管理運営を行う。
10	社会同和教育活動事業	市民啓発事業	353	449	0	0	0	0	449	96	○人権を考える講話会の開催等、人権問題に対する市民の啓発活動を行う。
11	青少年教育活動事業	各種団体補助金	1,635	2,866	0	0	0	0	2,866	1,231	○青少年の健全育成にかかわる団体に補助金を交付し、活動の活性化を図ることにより、青少年の健全育成を推進する。
12	青少年教育活動事業	地域学校協働本部事業	3,888	3,773	0	2,506	0	0	1,267	▲ 115	○学校・家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携及び協働を推進するための様々な仕組みづくりを進め、青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図る。

No.	予算事業名称	小事業名称	令和4年度 当初予算額	令和5年度当初予算要求額					対年度 増減額	事業概要	
			事業費	事業費	財源内訳						
					国	県	地方債	その他			一般 財源
13	青少年教育活動事業	謙信KIDSプロジェクト	5,140	5,186	0	0	0	5,186	0	46	○地域資源や人材を生かした体験活動を通して、学ぶ意欲やふるさとを愛する心の育成、グローバル社会に生きる力を育てる。
14	社会教育指導員設置費	社会教育指導員設置費	10,354	11,125	0	0	0	0	11,125	771	○青少年教育及び社会同和教育などの社会教育事業の実施に際し、指導及び助言等を行う。
15	社会教育推進費	社会教育委員	621	659	0	0	0	0	659	38	○社会教育委員（公民館運営審議会委員）による社会教育事業の評価や提言を事業に反映させ、市の社会教育の推進を図る。
16	社会教育推進費	上越地区広域視聴覚教育協議会負担金	3,145	3,145	0	0	0	0	3,145	0	○上越地区広域視聴覚に関する事務を共同で管理及び執行する。
17	生涯学習推進事業	学習情報提供事業（生涯学習情報ガイドブックの発行等）	24	23	0	0	0	0	23	▲ 1	○学習機会や指導者等の情報を提供することにより、生涯にわたる市民の学習活動の充実を図る。
18	生涯学習推進事業	上越市民芸能祭（交付金）	210	210	0	0	0	0	210	0	○芸能学習の成果を発表する機会を創出し、市民の活動意欲の高揚を図るとともに、市民が芸術や文化に触れる機会を提供し、文化活動へ参加する機運を醸成する。
19	生涯学習推進事業	生涯学習関連業務（機材貸出・出前講座・議会関係など）	2,139	2,769	0	0	0	0	2,769	630	○市民の自主的、自発的な学習活動を支援する。
20	美術展覧会事業	美術展覧会事業	5,410	5,716	0	0	0	650	5,066	306	○市民に美術、芸術活動の成果を発表する場や鑑賞の機会を提供し、美術、芸術文化の振興を図る。
21	美術展覧会事業	新潟県美術展覧会上越展事業	731	731	0	0	0	0	731	0	○市における美術・芸術文化を推進するため、新潟県美術展覧会を開催する。
22	上越清里星のふるさと館管理運営費	上越清里星のふるさと館管理運営費	19,043	19,788	0	0	0	1,911	17,877	745	○体験学習の施設として、生涯学習の振興と青少年の健全育成に寄与する。
23	ユートピアくびき管理運営費	ユートピアくびき管理運営費	66,720	73,784	0	0	0	2,817	70,967	7,064	○利用者が安全で快適に利用できるよう、希望館等の適切な管理運営を行う。
24	はーとびあ中郷管理運営費	はーとびあ中郷管理運営費	20,774	55,757	25,000	0	0	698	30,059	34,983	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
25	生涯学習センター管理運営費	生涯学習センター管理運営費	1,685	1,546	0	0	0	0	1,546	▲ 139	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
26	生涯学習センター管理運営費	安塚区地域生涯学習センター管理運営費	7,336	8,824	0	0	0	641	8,183	1,488	○利用者が安全で快適に利用できるよう、4施設（中川、伏野、菱里及び須川）の適切な管理運営を行う。
27	生涯学習センター管理運営費	大島区地域生涯学習センター管理運営費	565	608	0	0	0	53	555	43	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

No.	予算事業名称	小事業名称	令和4年度 当初予算額	令和5年度当初予算要求額						対年度 増減額	事業概要
			事業費	事業費	財源内訳						
					国	県	地方債	その他	一般 財源		
28	生涯学習センター管理運営費	吉川区地域生涯学習センター管理運営費	3,092	3,537	0	0	0	90	3,447	445	○利用者が安全で快適に利用できるよう、2施設（吉川旭及び源）の適切な管理運営を行う。
29	生涯学習センター管理運営費	中郷区地域生涯学習センター管理運営費	4,579	6,747	0	0	0	91	6,656	2,168	○利用者が安全で快適に利用できるよう、片貝縄文資料館及び片貝地域生涯学習センターの適切な管理運営を行う。
30	生涯学習センター管理運営費	清里区地域生涯学習センター管理運営費	3,228	3,177	0	0	0	10	3,167	▲ 51	○利用者が安全で快適に利用できるよう、榑池地域生涯学習センターの適切な管理運営を行う。
31	生涯学習センター管理運営費	名立区地域生涯学習センター管理運営費	2,913	3,359	0	0	0	27	3,332	446	○利用者が安全で快適に利用できるよう、不動地域生涯学習センターの適切な管理運営を行う。
32	野外活動施設管理運営費	野外活動施設管理運営費	2,532	1,850	0	0	0	0	1,850	▲ 682	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
33	七ヶ地区コミュニティセンター管理運営費	七ヶ地区コミュニティセンター管理運営費	627	787	0	0	0	277	510	160	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
34	上越科学館管理運営費	上越科学館管理運営費	70,664	69,333	0	0	0	0	69,333	▲ 1,331	○上越地域における科学的な知識の普及や、科学に親しむ習慣の形成に寄与するため、上越科学館の管理運営を行う。
35	公民館事業	公民館事業	72,374	82,254	0	0	0	1,458	80,796	9,880	○参加者同士が互いに学び合い、高め合う機会と場を提供し、人づくり・地域づくりを推進する。
36	公民館事業	公民館図書室事業	1,180	1,139	0	0	0	0	1,139	▲ 41	○地域住民が、身近で様々な本を手にとることができるよう、図書資料の充実を図る。
37	公民館施設整備事業	公民館施設整備事業	31,889	0	0	0	0	0	0	▲ 31,889	○金谷地区公民館の移転整備に係る地質調査及び建築設計を行う。
38	公民館管理運営費	公民館管理運営費	62,094	220,454	0	0	133,700	4,259	82,495	158,360	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
39	公民館管理運営費	浦川原区公民館管理運営費	2,054	9,520	0	0	0	70	9,450	7,466	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
40	公民館管理運営費	大島区公民館管理運営費	7,158	11,622	0	0	0	217	11,405	4,464	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
41	公民館管理運営費	牧区公民館管理運営費	294	293	0	0	0	0	293	▲ 1	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
42	公民館管理運営費	柿崎区公民館管理運営費	28,226	23,509	0	0	0	1,819	21,690	▲ 4,717	○利用者が安全で快適に利用できるよう、地区館及び3分館（川西、下黒川及び黒川）の適切な管理運営を行う。

No.	予算事業名称	小事業名称	令和4年度 当初予算額	令和5年度当初予算要求額						対年度 増減額	事業概要
			事業費	事業費	財源内訳						
					国	県	地方債	その他	一般 財源		
43	公民館管理運営費	大潟区公民館管理運営費	8,305	7,901	0	0	0	291	7,610	▲ 404	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
44	公民館管理運営費	頸城区公民館管理運営費	11,638	16,910	0	0	0	199	16,711	5,272	○利用者が安全で快適に利用できるよう、5分館（南川、西部、大坂井、明治及び明治南）の適切な管理運営を行う。
45	公民館管理運営費	吉川区公民館管理運営費	5,982	6,817	0	0	0	477	6,340	835	○利用者が安全で快適に利用できるよう、地区館及び7分館（東田中、泉谷、勝穂、竹直、源、川谷及び旭）の適切な管理運営を行う。
46	公民館管理運営費	板倉区公民館管理運営費	8,436	9,438	0	0	0	334	9,104	1,002	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
47	公民館管理運営費	三和区公民館管理運営費	6,451	9,496	0	0	0	90	9,406	3,045	○利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
48	公民館管理運営費	名立区公民館管理運営費	13,675	15,663	0	0	0	320	15,343	1,988	○利用者が安全で快適に利用できるよう、地区館及び上名立分館の適切な管理運営を行う。
49	市民交流施設高田公園オーレンプラザ管理運営費	オーレンプラザ管理運営費	42,837	46,919	0	0	0	12,154	34,765	4,082	○多くの市民が集い、語り、交流し、充実した活動を行えるよう、適切な管理運営を行う。

令和5年度 補助金交付事業計画（案）

担当係・ 担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
板倉区	群馬県板倉町子ども会交流事業補助金	板倉子ども会交流会事業	群馬県邑楽郡板倉町の児童と相互交流を行うことにより、広い視野を持った心豊かな児童を育成するとともに群馬県邑楽郡板倉町との友好親善を深める。	186,000	
大潟区	生涯学習フェスティバル補助金	卯の花音楽祭	大潟区出身の小山作之助を顕彰するとともに、音楽財産を後世に残すため音楽祭を実施する。	208,000	
頸城区	生涯学習フェスティバル補助金	くびき文化祭	頸城区で活動を行う市民を中心に、音楽発表会や作品展を通して自ら学習した成果を展示・発表する。また、体験学習コーナーやブックリサイクル等も実施する。	311,000	
吉川区	生涯学習フェスティバル補助金	吉川区生涯学習フェスティバル	生涯学習の成果発表や団体のネットワーク形成の推進を行う。また、作品展・芸能発表会等を行う。	130,000	
中郷区	生涯学習フェスティバル補助金	中郷区生涯学習フェスティバル	取り組んできた学習や活動の成果を発表する場として開催し、相互の活動内容を理解するとともに、広く地域住民に知ってもらふ機会とし、もって生涯学習に取り組む機会とする。	100,000	
板倉区	生涯学習フェスティバル補助金	板倉ふれあいまつり実行委員会	板倉区住民の生涯学習を推進し、学習の成果発表の場を提供するとともに、地域住民の交流を図るため、文化展をはじめとした各種イベントを開催・運営する。	80,000	

担当係・ 担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
清里区	生涯学習フェスティバル補助金	清里区生涯学習フェスティバル	清里区生涯学習フェスティバルを実施することで、清里区住民の生涯学習を推進し、学習成果の場の提供をするとともに地域住民の交流を図る。	95,000	
三和区	生涯学習フェスティバル補助金	三和区生涯学習フェスティバル	地域で活動する人たちの日頃の学習の成果発表の場として、文化祭を開催し、市民の連携を深め、地域の活性化を図る。	250,000	
生涯学習係	上越市小中学校PTA連絡協議会補助金	上越市小中学校PTA連絡協議会	家庭・学校及び単位PTA相互の連携強化と地域の教育力の向上を図るため、上越市小中学校PTA連絡協議会が行う広報紙の発行や研修会等の事業を支援する。	1,355,000	上限額
生涯学習係	岩内町交流事業補助金	上越市子ども会連絡協議会	青少年の健全育成を図るため、上越市子ども会連絡協議会が行う北海道岩内町児童との姉妹都市交流事業「ジュニア上越の船」で来越した児童と当市の児童との交流事業を支援する。	40,000	上限額
生涯学習係	上越市子ども交流活動支援事業補助金	単位子ども会、地区子ども会連絡協議会、地域青少年育成会議、文化活動団体（5人以上の構成員で組織され、市の区域内で活動する団体）	子どもの異学年交流や地域交流等の促進を図り、ひいてはリーダー育成につながる各種活動を支援する。	200,000	上限額は対象となる団体や範囲により1万円～10万円

担当係・担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	すわっ子わく わく事業 実施主体： すわっ子クラ ブ	子どもたちの健全育成や住 民の郷土愛の醸成を図るた め、二貫寺の森での野外活動 や各種体験教室等を実施す る。	640,000	
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	児童の地域お 宝発見・地域 住民ふれあい 事業 実施主体： 上雲寺小学校 最寄会	児童の地域教育の成果を地 域に周知するため、地域連携 カレンダーを作成し配布す る。	151,000	
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	第6回手しご と・手づくり 柿崎・上越作 品展 実施主体： 手しごと・手 づくり柿崎・ 上越作品展実 行委員会	ものづくり文化の伝承と世 代間交流を促進するととも に、いきいきと健康に暮らせ る地域社会の構築を図るた め、ものづくりに取り組む市 民の作品発表の場を設ける。	440,000	
生涯学習係	地域独自の 予算事業補 助金	「うたって・ おどって・み て」楽しい暮 らしを応援 実施主体： 牧文化協会	生涯学び続けることの楽し さを伝え、文化活動参加者及 び鑑賞者の裾野を広げるこ とを目的に、牧文化協会主催 による「夢まつり」を開催す る。	113,000	
清里区	地域独自の 予算事業補 助金	スターフェス ティバル 2023 事業 実施主体： 天文指導協力 員会	子どもから大人まで天文に 興味を持ち、かつ清里を訪れ る人を増やすため、開館 30 周年を迎える上越一の天文 体験施設をいかし、天文講演 会や星空コンサート等を内 容とするスターフェスティ バルを開催する。	619,000	

担当係・ 担当区	補助金名称	補助対象団体 または事業	目的・内容	交付予定額 (円)	備考
中郷区	地域独自の 予算事業補 助金	アートでまち おこしプロジ ェクト 実施主体： 生涯学習フェ スティバル実 行委員会 (提案団体： 一般社団法人 中郷区 さと まる学校)	アートを通じた地域の一体 感の醸成や地域活性化、交流 人口の増加を図るため、中郷 区にUターンしたアーティ ストの知識・経験・人脈を活 用し、中郷区生涯学習フェス ティバルでの演劇披露のほ か、芸術に関する公民館講座 を開催する。	185,000	

情報共有シート

【目的】 コロナ禍であっても社会教育委員の皆さん同士で社会教育活動におけるヒントや課題、解決策などといった情報を共有し、各自が携わっている社会教育活動等を充実した活動にすることで、上越市の社会教育の推進につなげていく。

1. ご自身が携わっている社会教育活動に関し、発生した課題や悩み、課題解決に効果的に感じた取組などありましたらお書きください。

	課題・悩み等	MEMO
1	<ul style="list-style-type: none"> この2年間はコロナの影響でほぼ会議などもなく情報共有シートやオンライン参加での活動にとどまりました。このような状況ではなかなか思ったことが伝わらず活発な議論をする状況にありませんでした。早く皆様と一堂に会して会議等が開催できればより良い提案などが出来るのではと思って居ります。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 学校を核とした地域づくりにつながるような、学校運営協議会の主体性や積極的な熟議を一層進めていきたいと考えています。そのためにも、地域コーディネーターの養成と研修が必要であると思います。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> コロナに対する対策は概ね定着してきて、参加者の方もなれてきたように思います。一方で、主催者側のスタッフに感染者や濃厚接触者が発生して、事業対応ができなくなることがあった。中止・延期はやむを得ないのだが、団体とはいえ少人数での対応なので代替がきかないことが多い。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> これからも持続可能な組織の在り方や役員の若返りを検討し、活動内容、手法の見直しを行っている。過去の実績や企画が通らない空白期を乗り越えるために、活動組織の目的、原点を再確認しようとしている。 自治会(町内会)との連携が必要な面が多く、地区町内会長会との関係を強化する。町内会も関係団体との連携を重視されており、話し合う余地は大いにあると思われる。 他団体の組織の変化も見聞され、連携の在り方を再構築の必要がある。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと未来づくり講座」前年に引き続き本年度も高土、三郷、清里区に参加。昨年は、報告書の提出があったが、本年度はない。委員の責務を果たす(社会教育課はそれを確認)意味から提出を求めるべきである。委員の活動を把握することは大切である。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> 活動を続けていくために若い世代に入ってもらいたいが、50代前半が若手になっている。40代、30代、20代にも一緒に活躍して行けるように働きかけていきたい。学校での活動が、もともと忙しい学校のカリキュラムの中で出来にくかったが、コロナ禍で一層その時間が取れなくなったり、外部から人を入れるのが困難になっている。 	

	効果的に感じた取組	MEMO
1	<ul style="list-style-type: none"> 当団体の活動は、就学時検診時に学校へ訪問し、入学予定保護者への講座を行っています。新潟県教育委員会の家庭教育支援ガイドブックを活用し、子育てや学校生活のことなどを情報共有や共感してもらいます。またメンバーが子育て経験者としてアドバイスをしています。新生活が始まる保護者同士で話し合えて良かったと感想が届いています。大きな問題や課題はありませんが、活動を継続するにあたって、事務局の在り方や、役割分担などは上手にカバーできています。マンネリにならないように、自分たちの課題や問題意識を維持する努力も続いています。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 普段、子どもたちは暴力について具体的な話を聞く機会が少ない。CAPの子どもへの暴力防止プログラムでは、ワークショップの最後にトークタイムを設けている。ワークを体験して、話したいことがある子どもは、CAPのメンバーに話を聴いてもらう時間になっている。その中で、これまで誰にも言えていなかった家族からの虐待を私たちに話してくれた児童がいた。被害者が話さないと、それはないものとなってしまいが、CAPのワークショップの中であなたは大切な人、暴力にもしあったら自分を守ってほしい、いやと言っていい、逃げていい、相談してね、という内容を繰り返し伝えた結果、勇気を出して話してくれた。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の部活支援について地域の小中学校教員と保護者と行政・地域協議会委員・団体の役員に集まっていただき、課題を共有し、今後の支援について意見を伺い、課題解決を図る案を提示し、今後の方向性が見えてきた。地域で話し合うことができる環境を作っていく事は次世代のリーダーの養成にもつながり、非常に有効な方法と思われた。学校・家庭・地域が一体となった子供の健全育成を重点事業に挙げているので、中学校区でその形が行われる仕組みづくりを考えていきたいと思いました。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍にあり、令和2年・3年度はバレエ発表会を区コミュプラ会場で子供一人につき家族3名の観覧者、しかも入りきらないので2回公演とし開催した。令和4年度は子供たちの成長を支えている多くの方々と共有することをあきらめないで決心し、オーレンホールを会場として開催した。子供たちの緊張は昨年の何倍もあったが、それだけにやり切った表情があり、多くのご家族から感謝の言葉をいただき、幸せ感があふれた事業となった。コロナ禍でもあきらめない、変化していく事を学びました。 	

2. 社会教育委員として、市の社会教育事業等に関し、意見・提案などがありましたらお書きください。【事業訪問等】

	意見 ・ 提案	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで、活動のピーアールが必要だと思います。若者には、SNS等での情報発信で活動への参加を増やしてほしいです。 	(公民館係) <ul style="list-style-type: none"> 若者の参画や若者を対象とした事業の実施については課題と考えています。事業の実施においては、対象とする世代ごとにより適切な周知方法や内容等を検討していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より「事業訪問」は参加者と同じく体験する型になりました。事後の報告も感想程度で良くなりましたが、以前のように良い点、改善点等を指摘する方が良いのではないかと思います。同じ様な企画だとマンネリ化や不具合が出ても当事者は気付きにくいように思います。 	(社会教育係) <ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員の事業訪問について、今年度は対象事業を限定せず講座に参加いただき、事業に対する意見や提案をいただく方式に変更したところです。市の社会教育事業等に対する意見・提案をいただける事業訪問の効果的な方法について引き続き検討していきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 第3次総合教育プラン 文化活動の振興について 第7次総合計画の現状分析で、既存団体のメンバーの固定化、新たな自主グループの結成も活発とは言えない・・・と言う記載があります。確かに、従来型の活動については、メンバーの固定化、高齢化に伴い、減少傾向が見られます。しかし、私が係わる音楽の分野について言えば、今までとは違う形での動きが数多く見られます。ただ、一つの傾向として、同じ趣向、感覚の仲間が少人数で集まり活動し、それを拡大しようとか言う事にこだわっていない。又、競技会等への参加を重要視しないので、団体間の組織化もあまり望んで居らず、あくまで自分達のペースで活動を進めていくというパターンです。 <p>毎年、市民芸能祭、合唱祭など、市民グループ発表の場が設けられますが、これらの新たなグループが既存の連盟組織に属していない場合が多く、これら新たなグループをどう拾い上げ、発表の場を提供し、文化活動の流れに巻き込んで行くかと言う事が大きな課題と考えます。</p> <p>オーレンプラザで開催される「アートフェス”オーレ”」(音楽、舞踊などジャンル不問)やミュージックファン“オーレ”(POP,JAZZバンド系)等はその為の一つの試みですが、ここを活動拠点とするグループ合同の発表会です。コロナ渦では、無観客で実施し、市の公式Youtubeチャンネルで公開しています。最近、各公民館支部に於いても、地域の活動団体の発表会を開催している様ですが、いずれは、各公民館支部との連携で、拡大版が出来たら良いと考えます。</p> <p>もう一つ、これら発表会での傾向ですが、折角の合同発表会なのに、自分の出番だけしか考えず、自分の出番が終わるとさっさと帰ってしまう。又、観客も、お目当てのグループの発表が終わるとそれで他を見ようとしません。小学校の発表会等では、さらにその傾向が強く、一つの発表が終わる度に客席も大移動が起こる。満員で客席に入りきれないのならばやむを得ない部分もありますが、実態としては、客席には空席が目立つ。統計上、参加人数にはカウントされるものの、お互いの発表を見ようとしないので、何のために合同の発表会を催しているのか、その意義に疑問が生まれます。これは今に始まった傾向では無く、この地域ではずっと以前からその傾向を感じていました。事ある毎に、もっと他のグループの発表を見ようよと、声を掛け続けていますが、中々変わりません。強制をする事無く、皆の意識を変えて行くにはどうすれば良いのか、正直、解決方法が解りません。</p>	(生涯学習係) <ul style="list-style-type: none"> ご意見にもあるとおり、既存の連盟組織に属さない新たなグループにも発表の場を提供していくことは大切であると考えます。団体情報の収集に努めるとともに、既存の連盟組織とのマッチングも進めていきます。 (公民館係) <ul style="list-style-type: none"> 公民館における活動団体の発表は、近年コロナの感染防止の観点から中止していましたが、以前から実施しているものです。 市民芸能祭等、大きな発表の場を求める団体がある一方、地区館単位のような発表の場を望む団体もあるものと考えています。様々な声に応じられるよう、多様な発表の機会や場の提供を検討していきます。
4	<ul style="list-style-type: none"> 公民館事業について 今年度も、委員として、と言うより、一市民として幾つかの事業に参加させて頂きました。どれもよく考えられており、楽しく、有意義なものでしたが、やはり不便だな、と感じたのは、事業の開催予定、参加申し込み要項の情報が中々手に入りにくい事です。各公民館支部の立地している地域住民を主な対象にしているのは解ります。が、年度初めの全体予定表では、計画はあるが詳細は未定、と言うのが多く、その詳細は、その立地地域にしか知らされず、他の地域からだ、自分で情報を取りに行かないと行けない事が多々あります。折角の事業ですから、もっと広報を強化し、他地域からの参加も受け付ける様になれば、市民の地域間交流や相互理解にも有益と考えます。 	(公民館係) <ul style="list-style-type: none"> 地区公民館事業では、参加対象を当該地域に限定してはならず、他地域の方の参加も受け付けています。しかし、人づくり地域づくりを目的とした事業では、まずはその地域の住民の意識高揚等が重要であり、その上で目的に応じ積極的な周知や他地域の方との交流等を行うことが望ましいと考えます。

	意見 ・ 提案	回答
5	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと未来づくり講座「歴史巡り」 3回の現地巡りを通じて、高土、清里、三郷を始めとし、頸城平野において、それぞれの地域が、時代の変化と共に、どの様にして繋がりを、形成されてきたのかを学び、今までに得ていた個々の知識が、一つの帯として繋がりを、そういう事だったのかと納得できた。さらに、自身が住む地域が形成されていく過程や、先人の活動を知る事で、ふる里について誇りが持てる様になり、さらに今後についてどの様に考えていくかと言う事について示唆に富んだ講座になった。 小中学生辺りは、学校の取り組みの中でいくらか知識を得ていると思われるが、講座の参加者が高齢者ばかりなのがいかにも残念。出来れば若い人にも参加の機会を作れたらと思う。 地域の公民館事業なので、その担当地域の住民を対象にするのは仕方ない面もあるが、それだけでは勿体ないし、出来れば、市広報などを通じ、市内全域から参加者を募り、他地域の歴史や活動を互いに知る機会を作れたらと思う。 	<p>(公民館係)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人づくり地域づくりを進めるうえで、若い世代の参加は課題と考えています。No.5の回答にも記しましたが、人づくり地域づくりを目的とした事業では、まずはその地域の住民の意識高揚等が重要であり、その上で目的に応じ積極的な周知や他地域の方との交流等を行うことが望ましいと考えます。
6	<ul style="list-style-type: none"> 市民の歌について 新しい市民の歌が制定され、既に15年以上が過ぎましたが、定着したでしょうか。とても素敵な曲ですが、これを聞く機会は中々ありません。この曲には限りませんが、何か集まりがある時、皆で歌える歌の存在はとても大事です。作曲された後藤先生は、様々な形の編曲譜を作って居られますが、以前市のホームページで見たきり、あまり知られているとは思えません。以前の市民歌にサンバ編が有り、民謡流しで踊られていた様に、「このふるさとを」のJAZZ,POP編、よさこい編、等いろいろな形で使っていくという発想が必要と考えています。 また、今までにも数回にわたり、上越オリジナルの楽曲が作られ、演奏されましたが、「くびき野の歌」をのぞき、1回の演奏で終わっています。 1995年 カンタータ「やつかはぎ」(リージョンプラザ開館10周年記念) 2002年 「青邸の美しい庭」(第2回日韓フレンドシップコンサート) 2004年 交響曲2002年(第3回日韓フレンドシップコンサート) 2010年 音楽劇「くびき野の歌」(上越文化会館) 2019年 「くびき野の歌」再演 2022年 音楽劇「月の明るい夜に」(小川未明生誕140周年記念 上越文化会館) どの公演も好評且つ盛況でありましたが、ここで作られた曲などが、市内団体の愛唱歌としては歌われる事は残念ながらありません。それはその様な仕掛けを作っていないからです。 となりの妙高市、柏崎市、糸魚川市では、それぞれオリジナルを複数持っており、何度となく再演され、且つ一部を手軽に演奏できる様編曲を施して、市内多くの団体が日常的に演奏するという事が出来ています。 折角オリジナルを作るのですから、1回のイベントで終わらせるのでは無く、市民共有の文化資産として使いこなす事をやって行かなければならないと考えます。 オリジナルではありませんが、ベートーベンの第九、来年が初演から200年の年です。画策してみようかな・・・。 	<p>(生涯学習係)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「このふるさとを」については、コロナ前までは、成人式で合唱していました。コロナ禍で取りやめとしていましたが、令和5年度は開式前の時間帯に流す予定です。また、他の事業等でも活用できるか検討していきます。
7	<ul style="list-style-type: none"> 上社連の地域巡検は、地域づくりの実情や携わる人々の熱い思いや未来を見据えた方策等を知ることができてとてもよかった。また、委員同士のかかわりもできました。 社会教育委員同士をつなぎ視点を広げるためにも、様々な研修の際の情報交流の場が大事だと感じました。 3年毎の「人権を考える講話会」は、意義深い事業であるので、より多くの保護者や地域住民の参加を促すための方策が必要であると思いました。 	<p>(社会教育係)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は上越市が当番となり、上越高田の町家を回りながら雁木が結ぶ人、歴史、文化を学び関心を高め社会教育委員同士の交流を図ることを目的とし実施しました。今後も情報交流の場の大切さを継続するよう上越教育事務所とともに取り組んでいきます。 「人権を考える講話会」は3年間で市内全小学校区を巡回する計画で、学校、PTA、町内関係者、地域青少年育成会議等、地域の組織の協力を得て、開催していることから、一層の参加を促すよう学校へも働きかけていきます。
8	<ul style="list-style-type: none"> 10月20日に上越市が担当で実施した生涯学習現地研修会(上社連)は、計画段階では上越市の上社連担当理事が集まり、意見を出し合ったが、準備・実施の段階では、上越市担当課の方々が全て対応する形となり、私自身は一参加者になってしまったのが申し訳なかった。次回以降は、もっと社会教育委員が主体的に研修会運営に参加すべきと思う。内容についても、各委員の活動エリアを紹介しながら回るとか、三市の委員同士が積極的に交流できるような内容としたい。 上記の研修会と同様に、新潟県の社会教育研究大会では毎年のように事例発表の順番が回ってくる。その際には、市の担当が計画・発表するのではなく、テーマや内容を検討するところから社会教育委員が中心となって進めるべきである。その際、今回のような情報共有シートの内容が活用されることを望む。年3回の会議以外にも委員で進めるべき話し合いや検討課題があるので、委員長・副委員長から早めに声かけをしていきたい。 	<p>(社会教育係)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員、事務局(3市担当課)において役割分担を明確にし、実りある研修会ができるよう上越教育事務所とともに取り組んでいきます。 市としても、委員が主体となって進めていただきたいと考えており、例えば会議の後の時間などを有意義にお使いいただきたい。一方で、委員は教育委員会が委嘱しており、経験もまちまちです。会議以外の活動については、負担のない形で行っていただければと考えます。

	意見 ・ 提案	回答
9	<ul style="list-style-type: none"> 市がリーダーシップをとり、社会教育委員の制度の活性化を望む。独自の事業を構築できないか。市民に向けオープン講座を開いたりできないか。社会教育委員が集まった研修会も大切だが、もう一步踏み出すことも大事である。 	(社会教育係) <ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員から独自の事業をやっていただくことは考えていません。委員の活動に寄与できるものがあれば、事務局として支援していきます。
10	<ul style="list-style-type: none"> 地域に任意の小さな活動団体があり、行政や公民館がどんな関わり方が良いのかと思う。社会教育事業とは地域のニーズをどれだけ捉えきれているのかな。 地域づくりや人づくりの活動プログラムは、どんな成果だったのか評価が難しい。 子どもたちの地域への想い、愛着を持てる活動が各地にあり、大切にしたい。子育て世代の参画を促したい。コロナ禍後の再構築が必要だが、集まること自体の工夫が必要。共働き家族が多く、声掛けの糸口、会合の曜日、時間帯など。 	(公民館係)(生涯学習係) <ul style="list-style-type: none"> 公民館では、各地区館ごとに地域から推薦された住民を運営委員として認定し、年2回の運営委員会議や事業に参画いただいた際などの意見を反映しています。 事業の企画立案の際、数年先の地域の姿等を見据えうえで計画的な取組となるよう努めていきながら、中長期的な観点で評価していくことが必要と考えます。 青少年育成会議の取組で、小学生や中学生が地域のお宝を調べたり、まつりなどの行事に参画しているので、地域とのかかわりを大切に、継続していけるよう支援していきます。 小学校や保育園における保護者参観等の機会を活用するなどし、家庭教育支援に関する講座をすべての地区公民館で実施しています。また、乳幼児をもつ保護者同士や地域住民との交流等を目的とした講座にも取り組んでいます。
11	<ul style="list-style-type: none"> 津有地区公民館の「ふるさと未来づくり事業」に参加しました。(事業訪問)「SDGSと津有のゴミ問題を考えよう！」が、大きなテーマです。3回講座の1回目は、SDGSの基本と3Rsについて学び、身近なものを使ったエコ工作活動がありました。2回目は、廃棄物の処理工場を見学します。(私は参加できませんでした)3回目は、クリーンセンター見学をし、ごみ処理過程の実態を学び、ゴミの分別とその理由を学ぶものでした。 参加者には、津有地区地域づくり協議会の生活環境委員会の方々もいます。テーマに迫るきっかけづくりになったと思いますが、それらを踏まえて今後の取組をどうしていくかが大きな課題となってきます。 今回の講座は、良く構成されていたと思いました。同じような学習が、親子学習などでも可能だと思いますし、テーマに迫る窓口(夏休み親子講座など)が複数あってもいいのではないかと思います。一堂に会しなくても、それぞれの講座の参加者で交流発表会などをしていいのではないかと感じました。 	(公民館係) <ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、今後どう取り組んでいくかということが重要と考えます。事業の検証を踏まえ、問題意識や取組が地域に波及するなど、さらに充実したものとなるよう検討していきます。
12	<ul style="list-style-type: none"> NPO法人など民間と行政が連携していくべきだと言われて久しいが、地域のNPO法人と連携して事業を行う事に挑戦してはいかがだろうか。NPO法人等で行われる事業では受益者負担により算出した参加費となり、市主催で行われる事業の参加費を大きく上回る。市事業が猛威に感じることもある。 事業の企画・予算を付けた提案を募集し、目的にふさわしければ採択し、市社会教育事業として運営することがあっていいのではないかと思います。 社会教育委員はそれぞれの団体や個人で核になっている方が多いが、社会教育委員間で連携し、事業企画し、運営できるような自立度が高くなってもいいのではないかと思います。 	(公民館係)(生涯学習係)(社会教育係) <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から、新たな地域づくり事業として取り組んでいる「ふるさと未来づくり事業」では、NPO法人に限らず地域で活動する団体等と連携し、その知見等も活かしながら、人づくり地域づくりにつながるよう取り組んでいます。 また、教育委員会が行っている事業は、民間事業者が行っている事業と類似している場合はあったとしても、あくまで教育的要素を主眼として行っています。(例:地域のお宝を巡る事業でも、そのお宝を地域としてどうしていったらいいか、積極的に周知するのか、守るための活動が必要なのかなど、参加者自身が考え、意見交換し、実践していくことが重要であり、単なるお宝を巡るツアー的事業とは異なるものと考えます) 社会教育委員の間でも共有していただければと思います。

3. 社会教育委員としての今期の任期が満了することに伴い、2年間で感じたこと、意見・提案等を自由にお書きください。

	感じたこと ・ 意見 ・ 提案	回答等
1	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員に参加するまで、上越市の社会教育について知りませんでした。これは一般市民の感覚でもあると思います。2年経ってなんとなく流れがわかるようになりました。よく知るととも良い活動と思いますが、理解するのに時間がかかります。少子化で働く保護者が多い中、一般市民への理解や周知をどのようにするか、この辺りも考えるが必要があると感じました。 	(公民館係) <ul style="list-style-type: none"> 事業の実施においては、その目的や対象とする世代ごとに、より適切な周知方法や内容等を検討していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 今までに何回も意見シートや情報共有シートを提出してきましたが「このような意見がありました」との提示はされるのですが、それがどの様に取り入れられたか、逆に不向きとされたのかがまったく伝わってきません。提出にあたっては色々考えているのですが「なしのつぶて」では張り合いがありません。途中経過でもお聞かせ頂けると幸いです。 	(社会教育係) <ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員の会議において共有できるよう情報提供します。
3	<ul style="list-style-type: none"> 新年度には新しい委員の方が参加されると思いますが、活動が始まる前に年間を通してどの様な活動があるか、どの様に行われてきたのかをレクチャーして差し上げた方がよいのではないかと思います。概要だけでは良く分からないことが多くあります。年3回程度の会議より、任意ではあるが参加して欲しい講習会等のほうが多くあるのでスケジュール調整して頂くためにも良いかと思えます。(ちなみに、私は委員になった4月に何の事前説明や顔合わせなどもなく、いきなり成人式に出席するように言われて大変戸惑いました。) 	(社会教育係)(生涯学習係) <ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員の会議において共有できるよう情報提供します。
4	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育や地域づくりの推進のために、社会教育士や社会教育主事有資格者の力を一層生かした取組が進むとよいと考えます。 	(社会教育係) <ul style="list-style-type: none"> 有資格者を中心に、市の社会教育のグランドデザインの作成や、事業の実施状況を見定め、各事業でどのような取組ができるか検討していきます。
5	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員として、前任者の残任期間1年をつとめさせていただいています。勉強不足で全体が見えない・理解できないという状況で申し訳なく思っています。今まで「社会教育」を何となくぼんやりとらえていたように思いますが、非常に幅広く奥が深く驚きました。「社教」の認知度は？委員の認知度は？などと考えてしまいます。活動を支え、推進して下さっている委員の方々がどのように選出されているのでしょうか。自身の立ち位置もはっきりしないまま過ぎました。 	(社会教育係) <ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員条例に基づき、下記のとおり構成で教育委員会が委嘱しています。 ①学校教育の関係者②社会教育の関係者③家庭教育の向上に資する活動を行う者④学識経験のある者⑤公募
6	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で不登校が増加している。不登校の中学生は20人に1人となっている。学校教育の問題はいずれ社会教育の問題に移行する。青少年健全育成の分野でもある。 	(青少年健全育成センター) <ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成センターでは、この問題を青少年健全育成のための大きな課題であると考えています。そこで、4年ほど前から義務教育終了以降の不登校やひきこもりへの対策事業として若者の居場所「Fit」を運営し、支援に取り組んでいます。
7	<ul style="list-style-type: none"> 中学校から部活が数年度には消える。そして、社会教育(体育、芸能など)の分野になる。先行的に社会教育委員で考えるべき問題でもある。 	(生涯学習係) <ul style="list-style-type: none"> 部活動については、まずは生徒や学校・地域との意見を尊重したうえで休日の部活動から地域へ移行することを協議しているところです。
8	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の地域移行に関して、もともと小規模校の部活が少なく、子どもたちが選べない状況です。それが移行によって、今以上の格差がうまれてしまうことを懸念しております。 	(生涯学習係) <ul style="list-style-type: none"> 部活動の地域移行については、ご指摘の点も含め、現在、教育委員会で検討中であり、今後、詳細を決めていく予定です。
9	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍となって、会議もリモートを使用することも多くなった。これはとてもよかったことである。しかしながら、市内ではWi-Fi設置の公共施設はまだ少く、今後早急に進めていただきたい。 	(公民館係) <ul style="list-style-type: none"> 市として、公の施設におけるWi-Fi環境の整備方針の検討を進めているところであり、これに基づく整備に取り組んでいきます。
10	<ul style="list-style-type: none"> 上記設問に対しても書いたが、社会教育委員の連携による企画はどうだろう。例えば「お祭り」。地域ごとにお祭りがあるがそこに中学生代表・高校生代表も一緒に企画したら、いいのではないか。まずは各地域の昨年度のお祭り企画をたたき台に、進めて開催し、終了後は、発表をし、又次年度につなげていく。例えば「地域のお宝」。それぞれの地域のお宝を探求し(学ぶ)、ガイドができる(伝える)ようにし、半日や1日ツアーを開催する。予算も決算もする。もちろん参加費も求める。募集も運営もする。地域に誇りを持ち、たくましい子供たちになると思う。もちろん大人は見守りながら助言者となってほしい。 	(生涯学習係) <ul style="list-style-type: none"> 地域の育成会議の中には、まちづくりワークショップの一環として、地域行事の企画段階から中学生がかかわっているところがあります。(春日中:謙信公祭、八千浦中:うみまつり、柿崎中:時代まつり、頸城中:くびきの祭典、中郷中:夏まつりなど)各委員が各地域で助言者となっていただければと考えます。

	感じたこと ・ 意見 ・ 提案	回答等
11	<ul style="list-style-type: none"> 上越で様々な魅力ある活動をされている方々や、その活動内容を知ることができました。公民館活動や研修に参加させていただき、とても有意義な2年間でした。ありがとうございました。 	
12	<ul style="list-style-type: none"> 上越市だけではなく委員の中にもう少しお若い方がおられたら良いのではと感じました。どんどん進化している世の中について行くのも大変ですが経験のある無しではない、新しい発想の世代に参加して頂き、未来像を提案できればと思います。 	
13	<ul style="list-style-type: none"> 実は、この委員会の存在、活動内容というのは、自分がその役になるまで、全く解っていませんでした。2年足らずですが、実際に係わってみて、役に立てたのだろうかと思っています。 ただ、委員になる前より、市の教育、文化行政について、いろいろな情報が入ってくる様になり、悪くは無いなと感じています。 この2年あまり、コロナ禍で様々な制約の中での活動しか出来ませんでしたが、出来れば、委員の中でもそれぞれ興味の対象が違うでしょうから、全員で無くとも、何かのテーマで、委員同士が対面で意見を交わす機会があったら良いなと思っています。 	
14	<ul style="list-style-type: none"> 自分の所属する団体等での活動を中心にしながら、自分が活動したり所属したりしている地域の社会教育活動や上越市全体の社会活動の実情を知ることが大切だと実感しました。そして、市民が学習しやすくなる環境や事業の在り方等について、教育委員会に提言する立場であることの自覚を高めました。各自の専門性を生かした様々な角度からの意見が大変勉強になりました。 	
15	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で会議自体がなくなったりリモートになったので、委員同士のつながりが希薄になってしまった。委員の方々の活動や意見・課題・悩みなどを、もっと直接、たくさん伺いたかった。リモート自体は会議がないよりいいのだが、会議前後の雑談のほうが実際的な話である場合も多い。今後は(市が招集する)会議後に委員同士の自由な意見交換の場を持ちたいと思うし、その際には情報共有シートからテーマや課題を抽出して、的を絞った議論をしてみたいと思う。 	
16	<ul style="list-style-type: none"> 社教委員は社会教育事業にどう関わればよいのか。事業評価や活動内容の企画/提起への関わり、地域のコーディネーター役など、どうすべきなのか。地域にあって私は、関係団体との関わりもあって求められる役割は果たせないままにいると思っている。 かつて、関ブロ大会で社会教育委員の存在を疑問視する意見を聞いたことがある。 地域の自主活動との関わり、少子高齢化が進む課題などコロナ後の社会教育事業の在り方、委員の役割など委員同士の研修も必要かと思えます。 これまで、地域活動の現状を学ぶことができたことは私にとって大きな成果であり、今後に生かせたらと思っています。 	
17	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育に期待されていることが、年々拡大してきているように思います。従来の活動を維持しながら、地域づくり等に向けた新たな期待が寄せられており、ますます多岐的な対応をしていかなければならないようです。このような時期だからこそ、今一度、社会教育の中核的な役割や、社会教育委員の基本的な役割などを確認していくことも大切なのではないかと思います。法令の取り扱いは変わっていないので不変と流行を見極めていくことが必要なのではないかと自問しています。 	
18	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中で動きづらい2年間だったと思う。その中で地域でがんばる人達との交流(未来づくり講座)が持てたことは、有意義であり、今後も関わりたいと考えている。 	